



吹奏楽部 東海吹奏楽コンクール銀賞!

平成28年度 第71回東海吹奏楽コンクール（東海吹奏楽連盟・朝日新聞社主催）高校B編成の部（30人以下）が8月28日（日）、三重県四日市市文化会館で開催され、静岡、長野、愛知、岐阜、三重の5県代表の計15校が出場し、岐阜県代表の池田高校吹奏楽部は銀賞を受賞しました。

当日は台風が接近して雨が強まる中、午前中本校で練習をした後、バスで会場に向かい、午後2時40分の本番を迎えました。

演奏する曲は「恋す蝶（原典版）」です。この日まで厳しい練習を頑張ってきて乗り越えてきた、出演者一人一人が、伝統あるコンクールでその成果を存分に発揮し、力強い演奏で会場内を魅了しました。審査の結果、堂々の銀賞を受賞しました。

吹奏楽の楽しみは、音楽を「創る」素晴らしさを多くの仲間と共有することにあります。それぞれの考え方や思いは異なっても、一つのことを創り上げる努力をするうちに、お互いの感性が磨かれ、理解が進んでいきます。

10月9日（日）には不二羽島文化センターで開催される第59回中部日本吹奏楽コンクール本大会（東海吹奏楽連盟・中日新聞社主催）に県代表として出場します。ご声援をよろしくお願いします。



〈平成28年8月29日（月）朝日新聞に掲載された演奏の様子〉



〈演奏後に全員で記念撮影をしました〉



〈3年生部員の記念撮影です〉

〈各パート毎に記念撮影〉



【コンクールを終えて・これからの抱負】

➤ 副部長 清水 冴子 さん

東海大会を終えてたくさんの課題が見つかりました。今までの自分たちに足りなかったものを探し、部員全員が一つになり、10月9日の本大会に臨みたいと思います。

➤ 顧問 中村 美代子 先生

「苦しい」のあとに「楽しい」がやってくる。そしてその「苦しい」が大きいほどそのあとの「楽しい」もまた大きいものになる。脳科学的には「幸福物質」のドーパミンが「苦しい」の後に分泌されると言われます。ドーパミンは簡単すぎる課題をクリアしても分泌されません。或る程度の難易度、困難を乗り越えてはじめて分泌されます。「人生楽ありゃ、苦もあるさ」ではなく「人生苦があるから、楽あるさ」ということでしょうか。

脳科学者の茂木健一郎氏は「口角を上げて笑顔をつくるだけで、前頭葉を刺激して、思考がポジティブになる」と言っています。「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しい」のです。私たち池田高校吹奏楽部は、モットーである「熱く魂を揺さぶる音楽」を笑顔で目指し、つよく、また以前にも増して逞しく演奏します。

➤ 顧問 中田 みなと 先生

他県の代表校の演奏を聴き、部員も顧問も多くの課題を見つけることができました。10月9日の中部大会に向けさらに頑張りたいと思います。

➤ 顧問 吉田 與一郎 先生

2年ぶりの東海大会を経験し、より高いレベルの演奏を目指して中部日本吹奏楽コンクール本大会に向け、集中して練習に取り組んでほしいと願っています。

